

2017年度 弘前大学人文社会科学部
消費者教育推進事業報告書

弘前大学における 消費者教育の調査・実践報告



序

本報告書は、弘前大学人文社会科学部と青森県消費者協会の連携事業の2017年度分の成果をまとめたものである。本年度の活動の位置付けを明確にするために今までの活動も記載している。消費者教育の実践者である青森県消費者問題研究会のメンバーには多くの協力、示唆を頂いている。

報告書編集委員

(代表) 保 田 宗 良
福 田 進 治
金 目 哲 郎
小 杉 雅 俊

問い合わせ先 保田宗良
tel/fax 0172-39-3293 E-mail yasuda@hirosaki-u.ac.jp

目 次

消費者フォーラム in HIROSAKI 概要	1
第1報告 高校生・高校教員への消費者教育アンケート調査の結果	5
第2報告 弘前大学における消費者問題講義の課題と展望	15
第3報告 大学生の成果発表～消費者市民社会形成の取り組み～	27
A. ソーシャルゲーム・ネットゲーム被害から見る消費者被害について	29
B. 食品ロスの現状と解決に向けた取り組み	33
C. プラスチックごみから考える消費者問題	37
D. ファストファッションと労働の関係～値段でモノを決めるの？～	41
弘前大学における消費者教育推進事業の記録（2014-2017年度）	46
あとがき	47

あとがき

本報告書は、2017年度の弘前大学における消費者教育の調査・実践をまとめたものである。消費者問題講義の受講者はフォーラムに出席しチーム毎に発表することが求められており、通常の講義とは様相が異なるが、教育の成果はかなり高いものとなっている。高校教諭へのアンケート調査の回答率は予想より高く、記述からは多くの知見が得られた。本年度の取り組みをいかに進展させていくかが、今後の課題となる。

2017年度 弘前大学人文社会科学部
消費者教育推進事業報告書
弘前大学における消費者教育の調査・実践報告

2018年3月26日発行

編集・発行者 同上編集委員会
代表 保田宗良
弘前市文京町1 弘前大学人文社会科学部内
発行所 小野印刷
弘前市富田町52